

みしま

作る手から使う手へ
編み組の技光る三島工人郷

主な内容

P2 先進地視察調査報告
長野県下條村

P4 町の話題

P6 連載「心ある医療」

P8 「福島県ブランド
認証産品」に認定

2008
7

広報みしま No.184



Photo/第22回ふるさと会津工人まつり（6月7・8日）

長野県下條村

昨年度、今後の町づくりに活かすため、役場の若手職員13名が3グループに分かれて、徳島県上勝町、岩手県遠野市、長野県下條村の視察調査を実施しました。若手職員たちにとって初めての視察調査。各地の先進的な町づくりに大きな刺激を受け、さまざまな発見をしてきました。今回は、長野県下條村の視察調査報告です。

自分の町が全国で何番か知っていますか!?

下條村 串原総務課長

町の実態をしっかりと把握することが大切

長野県下條村は、健全な財政運営や子どもの数が多いことで注目されている村です。下條村役場の串原総務課長

ワースト 1位	長野県王滝村	42.2%
499位	三島町	18.0%
1773位	長野県下條村	6.0%
1825位	松枝岐村	0.7%

※実質公債費比率とは、財政状況の健全度をみる指標のひとつで、公債費(借金)による財政負担を示すもの。
資料/毎日新聞社「週刊エコノミスト」

「皆さんは自分の町が全国の市町村と比べて何番目かわかっていますか。まず自分の町の状況をよく知ることが大切です。」と話します。例えば、公債費(町の借金)による財政負担を示す実質公債費比率を比べると、三島町は全国で四百九十九番目に借金が多い状況にあります。このような町の実態をしっかりと把握した上で、何をしなければならぬか考えるということを進めて学びました。

下條村のここがすごい 徹底的な行財政改革
下條村では、健全な行財政のために独自の改革を進めて

きました。その一つが役場職員の民間研修。全職員をホームセンターに一週間派遣し、職員の意識改革を行いました。「こういう世界があったんだ。」と職員の色が変わり、住民も「役場が変わるのなら自分たちも」と変化が見られたそうです。
このような意識改革により行政事務の効率が上がり、現在の下條村役場の職員数はなんと三十四名。そのほか、保育士や調理員、公園等の管理員など、二十二名の嘱託職員が配置されています。

住民の自己負担と自己責任の意識

下條村では、生活環境の整備にも特徴があります。その一つは下水道事業。以前、国や県が公共下水や農業集落排水を積極的に進める中、下條村では将来の大きな財政負担を避けるためにこれを行わ

ず、補助金と住民からの負担金により合併処理浄化槽の設置を進め、九十六%の世帯に普及しました。また、村道や農道、水路の整備など、比較的簡単な工事を住民主導で行う「資材支給事業」を積極的に進めています。
このように、下條村では自己負担と自己責任により、できることは自分でやろうという意識が根付いています。

人口1,000人あたりの職員数

下條村	8.06人 (職員数34名) (類似団体16.05人)
三島町	20.07人 (職員数43名)

下條村の概要 (平成17年 国勢調査)

- 人口 4,204人
- 世帯数 1,260世帯
- 高齢化率 28.4%
- 面積 37.66km²
- 位置 長野県の南部
飯田市(人口10万7千人)まで20分



下條村役場から見た村のようす

住宅整備 節約財政で若者定住施策 子育てへの波及効果も



下條村の若者定住促進住宅。平成9年から現在までに若者向け集合住宅10棟、一戸建て住宅54戸が建設され、合計178戸すべて入居している。入居者は、主に飯田市へ通勤している方々が多い。確実な若者定住と健全なコミュニティの育成を図るため、子どもがいる家族・結婚予定者・安定した収入・村の行事への参加・消防団加入等、独自の入居条件を設けている。

確実な若者定住施策で 着実に若者人口が増加

下條村の一番の特徴は、村内の各所に建つ村営住宅です。財政負担の少ない下水道や道路整備等によって確立された財政力により、計画的に「若者定住促進住宅」の整備が進められてきました。国の補助金を使わずに住宅を建設することで独自の入居条件を設定し、確実な若者定住を図ってきました。その結果、下條村の十四歳以下の人口割合は十七・一%となり、長野県一位となっています。
また、若者の定住によって子育て世代の交流が図られ、健全なコミュニティの育成という波及効果も生まれています。

目標が明確な施策で 地域を元気にした下條村

人々が住みたいと思う住宅や、利用したいと思う施設を整備してきた下條村。自分にとってメリットがあれば、人はやってくる。下條村の生活環境整備の施策は、目標が明確で「人に訴える力」を感じました。

提案

具体的な目標をみんなでお考え、計画的な町づくりを進めよう。

住民ニーズを反映した町の将来像を描こう

非常に少ない職員体制、財政負担の少ない下水道事業や資材支給事業、そして若者定住促進住宅など、下條村の施策は感心させられるものばかりです。しかし、三島町と下條村では、周辺地域の状況や風土など、様々な違いがあります。一概にまねできることばかりではありません。下條村から学ぶべきことは、町づくりの明確な目標を設定し、それに向けて計画的に施策を実行するということではないでしょうか。

徹底的な行財政改革を 実行していきます

今回の視察調査では、役場職員は行政のプロとして徹底的な改革を進めなければならぬことを強く実感しました。町ではこれまでも職員の削減や事務事業の見直し、経費削減を行ってきましたが、さらなる意識改革と事務の効率化が必要と感じています。職員数については、現在四十三名の職員を三十七名まで削減する計画です。これを実現するためには、現在の行政事務の取り組み方、人員配置等を根本から見直し、少ない人数で効率よくできる方法を考えなければなりません。また、赤字を抱える事業については、採算性を検証し、適正な受益者負担も考えなければなりません。これは本当に大変なことです。町では誠意を持って真剣に取り組んでいきますので、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

三島町特産の会津桐を未来に

～北会津・両沼地方育樹祭 開催～



六月十八日美坂高原で、北会津・両沼地方緑化推進委員会の主催で「育樹祭」が開催され、三島町をはじめ会津坂下町・湯川村・柳津町・金山町・昭和村・猪苗代町・磐梯町・会津美里町の九町村・三島小学校緑の少年団三十六名と林業関係者、あわせて約百名が参加し、国土緑化運動として三島町特産の会津桐の下刈り作業に取り組みました。当日は、会津桐ドクターの五十嵐馨さん(大谷)が育樹作業の方法を説明し、西方共有財産管理会の指導のもと、参加者は会津桐植栽地の下刈りなどを行いました。また、席上緑化功労者に対する表彰が行われ、長年に亘り大林カタクリ群生地への保存活動等が認められ、西方共有財産管理会が受賞しました。



カスミ草初出荷

6月8日三島町花卉組合(組合長 角田亀好氏)が、かすみ草の初出荷をしました。出荷場の中はかすみ草の香りいっぱい。作柄は「今のところ出来は良い」ということです。これからは毎週3回定期的に、11月いっぱいまで南は九州・沖縄、北は仙台までの全国20ヶ所の市場に出荷します。

角田組合長をはじめ組合員の皆さんには、これからも三島産のかすみ草の香りを、全国に届けてほしいと思います。



ワラビと会津桐の普及を目指して ワラビ栽培講習会 開催

森林環境交付金事業の一環として、6月26日、ワラビ栽培講習会が間方地区のワラビ圃場で開催されました。当日はワラビ栽培者の二瓶一義さん(間方)と元福島県普及指導協力委員の小柴春雄さん(高清水)を講師に地元の12名の方が参加し熱心に受講されました。この事業の目的は、ワラビ栽培を推進し直売所等での販売やJA加工場への出荷等とあわせて、ワラビ栽培地での会津桐の栽培を行うことでワラビと会津桐の普及拡大を目指しています。

第22回ふるさと会津工人まつりは、6月7・8日に生活工芸館前で開催され、編み組細工をはじめ、木工品や陶器・漆器、染め織物など計142店(うち町内出店者24店)が並び、工人どうし、作り手と使い手との交流の場として1万2千人の来場がありました。



「山と木の市場」が同時開催



ふるさと会津工人まつりにあわせて、(株)有紀を会場に「山と木の市場」が開催され、桐製品をはじめとした木工品等の展示販売や体験教室、チェーンソーによるものづくりなどが行われ、またそばやきのこ汁の模擬店も出店され賑わいました。



大勢の町民が楽しむ ビーチバレー大会

6月19・20日、ビーチバレー大会が三島中学校体育館で開催され、年齢制限のある1部に9チーム、制限無し2部に4チーム、計13チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。大会結果は以下のとおりです。

- 《1部》
優勝 西方チーム
2位 桐寿苑B
3位 ワラビーズ NKT
最優秀選手
青木 厚さん(西方チーム)



- 《2部》
優勝 荒屋敷チーム
2位 six diue
3位 山中Bチーム
最優秀選手
渡部義一さん(荒屋敷チーム)



伝統行事
虫送り

写真は西方地区の虫送り

6月14日、豊作を願って害虫を追い払う伝統行事「虫送り」が西方地区と名入地区で行われました。地元の中学生在が作った提灯を持った子どもたちが行列になり、「でんばら虫のおいくらよいよい…」と掛け声をかけながら集落内を練り歩きます。少子化が進むなか、子どもたちと保護者や地区の方々の協力により大切に受け継がれている伝統行事です。

万一に備え、応急処置の重要性について学ぶ

婦人会宮下支部が普通救命講習会

婦人会宮下支部の普通救命講習会が、6月19日に宮下活性化センターで開催され14名の皆さんが受講されました。会津坂下消防署三島出張所の職員が講師を務め、心肺蘇生法の実技やAEDの使い方、異物除去法等の救急隊到着までの応急処置の重要性について学びました。



会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では5月中、窃盗が1件発生しました。県内において、ブレーカーなどの点検を装うどろぼうの被害が発生しています。「漏電検査に来た。」などと話し、点検しながら注意をそらせて、バックや財布を盗むもので、作業服を着たり、点検道具を所持するなどの巧妙な手口です。不審な車や人を見かけた際の早期通報と、来客者などは、必ず相手を確認するようお願いいたします。

三島町内街頭犯罪等発生状況（1～5月）

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍込み		
事務所荒し	1	
出店荒し		
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	1	
自販機ねらい	3	
車上ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪計	8	0
全刑法犯	38	1

※全刑法犯には、街頭犯罪以外（器物損壊・傷害・万引き等）の犯罪発生件数が含まれます。

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》

☎ 役場 町民課 保健福祉係 TEL 48-5565

4ヶ月児健診

7月8日(火)11:15～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

7月30日(水)13:00～ 柳津町銀山荘

足腰げんき教室

○水中運動編
7月15日(火)13:00～ 町民センター集合
西会津さゆり公園プール

機能訓練会

7月23日(水)13:30～ 福寿草

からだげんき運動教室

7月24日(木)13:30～ 町民センター

スッキリサラサラフォローアップ教室

7月16日(水)13:30～ 町民センター
7月28日(月)18:30～ 町民センター

YYサークル

7月11日(金)10:00～ 昭和村すみれ荘

特定疾患医療受給者証更新受付会

7月17日(木)9:30～ 町民センター



平成20年度 自衛官等募集案内

募集種目	対象年齢	受付期間	試験会場	日時	コース(魅力)
2等陸・海・空士	男子	18歳以上	会津大学	9月20日	陸は2年、海・空は3年の任期制隊員継続任用も可能で、選抜試験に合格すれば曹へ進むこともできます。
	女子	27歳未満の者			
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満の者	8月1日～9月10日	会津大学	9月20日	曹となる自衛官を養成する。入隊後2年9月経過以降、選抜により曹に昇任します。
航空学生	18歳(高卒)以上 21歳未満の者	8月1日～9月10日	日本大学工学部	9月23日	海上・航空自衛隊のパイロットになる幹部自衛官 高卒後、最も早くパイロットになれます。
看護学生	18歳(高卒)以上 24歳未満の者	9月8日～9月30日	郡山労働福祉会館	10月25日	看護業務を行う看護陸曹(看護師) 3年間の高等看護学院での教育の後、国家試験受験に合格すると2等陸曹に昇任します。
防衛大学校(学生)	推薦	18歳(高卒)以上 21歳未満の者 (学校長の推薦が必要)	防衛大学校	9月27・28日	陸・海・空自衛隊の幹部自衛官(パイロットを含む) 修学年限4年、卒業後1年で3等陸・海・空尉になります。
	一般	18歳(高卒)以上 21歳未満の者			
防衛医科大学校(学生)	18歳(高卒)以上 21歳未満の者	9月8日～9月30日	郡山労働福祉会館	11月1・2日	自衛隊の医師である幹部自衛官 修学年限6年、医師免許取得後2等陸・海・空尉になります。

☎ 自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所 TEL (0242) 27-6724
(〒965-0825 会津若松市門田町黒岩大坪57-2)

連載

心ある医療

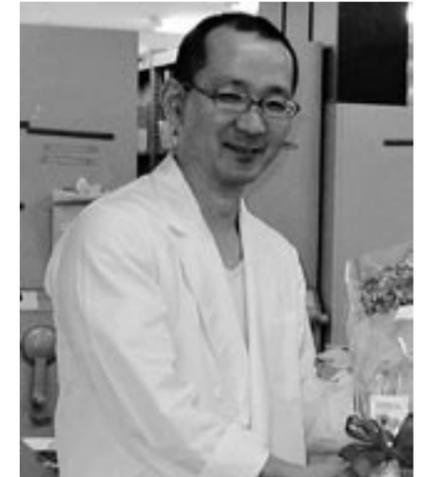
福島県立宮下病院からの情報コーナー

連載「心ある医療」では、毎月、福島県立宮下病院からの情報を掲載し、町民の皆さんに親しまれる病院を目指すと共に、地域や行政と連携した地域医療の充実を図ります。

☎ 福島県立宮下病院 事務部 TEL 52-2321

診療後記「宮下病院に勤務して」

えんどう かずひろ
外科医 遠藤 和洋 先生



宮下病院を退職するにあたり、今日までの勤務で感じたことを書き留めておきたいと思います。

今回、2年3ヶ月ほどの宮下病院勤務でした。加えて、以前に3年在籍しましたので、合計では5年以上の宮下病院勤務となりました。私の11年あまりの医師生活の約半分を、ここで過ごした計算になります。

生まれが中通り地方なので、はじめ会津にはあまりなじみがありませんでした。言葉もわからないことが多く、看護婦さんに通訳をしてもらいながら診療していたのが懐かしく思い出されます。振り返ると、この奥会津地域の皆さんは、穏やかな心持ちの方が多く、何ともありがたい環境でした。

若い医師を地域ぐるみで育てていこうとする、都会の病院では決してみられない暖かさがありました。それは、地域の病院を大事にしていこうという、皆さんの心意気であるのだと感じています。

昨今の医療情勢を考えると、ともすると病院というものに不信感をもつという方がおられます。もちろん、医師の言うことがすべて正しいわけではありません。患者さん一人一人の治療に関しては、医学的な正しさと同じくらい(実はそれ以上に)、その人の人生観や、家族の考え方が大切になります。それらを話し合いながら患者さん個人に対して最もよい治療法を模索していく共同作業をとらねばなりません。その前提となるのが、医療者と患者、家族との信頼関係です。今後とも我々医療者は、それを得るよう努力していかなければならないと思います。

また、私的ではありますが、この2年あまり地域住民として生活させていただきました。そこで地域に根ざした文化を大切にして生活をしている皆さんの姿を見て、時にそれに参加をさせていただく機会がありました。自然に逆らわずに、感謝しながら人生を全うするという素晴らしい文化を、これからも守り伝えていっていただきたいと思っています。

今後、私は大学病院にいて新しい医療の進歩を勉強し、吸収してきたいと思っています。どんな分野でもそうでしょうが、特に医療の世界は進歩が早く、それが患者さんの治療に直結します。ご存じかもしれませんが、今大きな病院では患者が多く、様々な面で患者にとっても医師にとってもストレスが多いようです。そんな中で、たぶん私はこの奥会津の小さな病院を、何度も思い出したいと思います。また、機会を作って、この空気を味わいに戻りたいと思っています。

今まで、大変お世話になりました、ありがとうございました。

〈お知らせ〉

○宮下病院では、7月より『【心ある医療】出前講座』を開きます。

この出前講座は、病院の医療スタッフが地域の皆様の所へ出向いて、いろいろなお話をしているという試みです。具体的な内容は病院からのお知らせをご覧ください。(地域の方々からの要望に応えるかたちで行います。)

○7月16日(水)に宮下病院において「転倒予防教室」を開きます。

これは皆様がいつまでも健康でいきいきと暮らしていけるよう、転倒予防に関する簡単なお話と予防体操を看護師の指導のもと行うものです。ぜひご参加ください。

会津総桐筆筒が「福島県ブランド認証産品」に認定

会津桐タンス(株)の会津総桐筆筒・下三大洋(したさんおおよう)が「福島県ブランド認証産品」に認定され、6月20日、県庁で認証式が行われました。式では、会津桐タンス(株)の役員4名が出席し、知事より会津桐タンス(株)社長の齋藤町長に認定書が交付されました。席上知事より「本県が世界に誇る逸品であると確信している」とのあいさつを受け、齋藤町長が「県ブランドの名に恥じないよう本県を代表する逸品として伝統を受け継ぎたい」と謝辞を述べました。



今後県では、全国・世界に誇る福島県ブランドとして、認証ロゴマークの表示、各種PR、物産展等での重点販売などによる支援を行います。三島町でもこのことを重点的にPRし、会津桐製品の販売拡大に繋げていきたいと考えています。

三島町でもこのことを重点的にPRし、会津桐製品の販売拡大に繋げていきたいと考えています。

三島町でもこのことを重点的にPRし、会津桐製品の販売拡大に繋げていきたいと考えています。

交通安全を願い

会津坂下地区交通安全協会三島分会がカーブミラーの清掃作業

会津坂下地区交通安全協会三島分会の会員15名の方が、6月14日午前8時より町内の国道・県道・町道のカーブミラーの清掃作業を実施しました。



交通死亡事故ゼロ4年達成

会津坂下地区交通安全協会三島分会に感謝状



三島町では、平成16年6月12日以来4年間、交通死亡事故ゼロ4年間を達成し、会津坂下警察署より感謝状をいただきました。

これからも悲惨な交通事故が起きないように交通事故防止に町民一丸となって取り組んでいきましょう。

人口と世帯 6月1日現在(住民基本台帳)

人口	2,169人(-1)	5月中の	出生	1人
(男)	1,019人(±0)	人の動き	死亡	2人
(女)	1,150人(-1)		転入	4人
世帯数	863世帯(+2)		転出	4人

広報 **みしま** 7月号 No.184

発行日 平成20年7月4日
編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
Tel 0241-48-5515
ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
印刷 株式会社アポロ

歳時記 萌の会

種袋占ふごとく振つてみる
タンポポの絮わたいっせいに風に乗り

宮下 栗城 三保

桐の花下向きに咲く性が好き
孫来るを待ちて見守る花西瓜

宮下 志田 タツノ



「広報みしま」は環境にやさしい大豆インクを使用しています。